

	<p>教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と 新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築</p> <h2>東浦町SP通信</h2> <p>～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、 「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～</p>	<p>第 50 号 2022 年 3 月 30 日 編集 緒方 なな 東浦町教育委員会 SPコーディネーター</p>
---	---	--

2021年度のSP活動を振り返って

2021年度の東浦町SP活動は3月24日が最終日でした。各小中学校では、修了式が行われており、この日もSPさんが支援してくれていました。4月から学校現場に出る現4年生SPさんは、いろいろな思いで式に参加をしてくれていたことでしょうか。それほど、子どもたちに真摯に向き合ってくれたのだと思うと、本当に感謝の気持ちが溢れます。そして昨年度に引き続き、コロナウイルスの影響が落ち着いた中でも何とかSP活動が続けられたことは、皆さんが日頃から感染症対策を徹底してくれたからだと思います。年度が終わる今、振り返ってみると昨年度よりも多い170名の学生さんが東浦町にSPとして登録・活動してくれていました。その全SPさんがそれぞれに、素晴らしい支援をしてくれました。その中でも特に、ウィークリーSPさんは手厚い支援を続けてくれました。子どもたちに寄り添ってくれました。本当にありがとうございました。

今年度からコーディネーターを務め、あっという間に一年が経ちました。このSP通信も気が付けば50号。ひと月に4枚ほどのペースで更新していましたが、いまだに「書き足りないな……」と思っています。それほど、SPさんの温かい支援が、明るい笑顔が、熱い想いがすごかったです。もっと「伝えたい!」「書きたい!」ただただその思いで更新してきました。このSP通信がSPさんたちの励みに少しでもなっていたら、他のSPさんの支援から何か一つでも多く学びが増えていたら、嬉しいです。

SP活動は、皆さんの力があってこそ成り立つ活動です。来年度で10年目を迎える東浦町のSP活動ですが、ここまで繋がってきたことは“すごいこと”です。シニアSP（卒業生）としても、とても嬉しく思っていますし、繋いでくれたSPさんたちに感謝の気持ちでいっぱいです。いつ、どの学校のSP活動を見に行っても、SPさんは子どもたちにひっぱりだこでした。そして関わる子どもたちのはじけるような笑顔が印象深く、何度見ても心を動かされました。SPさんたちにとっても、子どもたちとの関わりや思い出はかけがえのないものになったのではないかと思います。現4年生のSPさんは、もう間もなく「本当の先生」になりますね。SP活動での経験・学び・温かい思い出は必ずみなさんの糧になると思います。「ちょっと疲れたな……」と思う事があれば、いつでも東浦町に足を運んでください。ここが長い教員生活の「はじまりの場所」になっているSPさんがたくさんいることと思います。激務と言われる教員の仕事ですが、もうみなさんは十分そのやりがいも感じてくれていることでしょうか。くれぐれも体調に気を付けて過ごして下さい。どんな仕事も体が資本です。そして、皆さんの現場での活躍を心から楽しみにしています。来年度も活動してくれるSPさん、またもう一年皆さんの“熱い力”“温かい力”を貸して下さい。いろいろな話も聞かせてくださいね。では、来年度もよろしくお祈りします。

